

十一月	2048	● 木々が色づく十一月。
● すらの吊るされたオレンジ色の暖簾 <small>のんりん</small> のような干し柿。 ここ下條村の風物詩です。	2052	
● 真っ白な花を咲かせていたソバも 実をつけて焦げ茶色に。	2106	
● ソバ農家・近藤さんとの再会です。	2115	
(NO)	2144	
● 静かな山あいに、コンバインの音が響き、 次々とそばを刈り取っていきます。	2202	
● 採れたてのソバの実。 プロの目による厳しいチェックが入ります。	2235	
● とうやが 例年通りおいしい新そばがいただけそうですね。	2243	
● この頃、村はいつも賑やかな空気に包まれます。	2249	
● 下條歌舞伎が、年に一度の本番を迎えるのです。	(NO) *拍手	

2314	<ul style="list-style-type: none"> ● 演目は「絵本太功記」 本能寺の変直後の、明智光秀の家族を描いた悲劇のドラマです。
2334	<ul style="list-style-type: none"> ● (NO) *劇
2430	<ul style="list-style-type: none"> ● 舞台は神社脇の小屋から立派な屋内ホールに変わりました。しかし、江戸時代から綿々と受け継がれてきた文化。演ずる人々も観劇する人々も「ハシの目」を楽しむ芝居好きの心意気は時代を越えていくものです。
2504	<ul style="list-style-type: none"> ● (NO) 100点満点を目指して来年も是非挑戦したいそうです。
2546	<ul style="list-style-type: none"> ● 伊藤さん、
2559	<ul style="list-style-type: none"> ● 侍の御曹司を熱演した松本龍貴さん。
2649	<ul style="list-style-type: none"> ● (NO)
	<ul style="list-style-type: none"> ● 若い力を結集させて、古き良き伝統を守る。下條歌舞伎の未来は明るいようです。

2705	● 月がかわり十二月。
2722	● いよいよ新ソバのお披露目です。 ひきたて、うちたて、ゆでたてが味わえる季節のご馳走。
2731	● 湯気が上がると、辺り一面そばの香りが広がります。
2737	● うわ〜！おいしそうっ。
2747	● 一年の豊作を祝して皆で集まりました。
2756	● 下條村の山里に育まれた新ソバ。
2818	● 伝統野菜の親 ^{おだ} 田 ^だ 辛味大根をつけていただきます。
2921	● この味を大切に育てる気持ちは今までも そしてこれからも……。
2933	<p>(NO)</p> <p>● 一年の仕事をやり遂げた皆さんの表情は 自信の笑顔に満ち溢れていました。</p> <p>● それぞれの揺るがぬ想いを抱^{いだ}き暮らす人々。 そこには、 ふるさとを囲む山々のような力強さと雄大さがあるのです。</p>